



リハビリテーション科 地域住民に向けた取り組み

登別すずらん病院リハビリテーション科では、登別市役所や市内の病院と協力しながら、地域在住の高齢者に向けた介護予防の取り組みを行っています。

- ・フレイル（要介護状態の手前の状態）を予防するための健康講話
- ・体力測定を行い、心身機能や運動についてのアドバイス
- ・登別市の保健師と市内のリハビリ職で考案した『かるやか体操リズム編』の指導
- ・町内会やサロンなど住民主体の通いの場支援

など様々な活動に対し、リハビリスタッフを派遣し、積極的に介護予防に取り組んでいます。

2月には登別市内で行われる介護予防教室に協力させていただきますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。



医療法人 登別すずらん病院

〒059-0027 登別市青葉町 34 番地 9

電話番号 0143 (85) 1000 (代表)

診療科目：内科・消化器内科・リハビリテーション

診療時間：平日 午前 9:00～12:00 午後 13:00～16:30



医療法人 登別すずらん病院 広報誌

第 30 号

すずらんだより

ホームページ <http://www.suzuran-hosp.or.jp>

E-mail info@suzuran-hosp.or.jp

新年のご挨拶



理事長 志田 勇人

新年あけましておめでとうございます。本来はおめでたい新年のご挨拶ですが、日本では能登半島地震の発生でたくさんの死傷者が出たのとまだ多くの方がこの寒い時期に避難生活を余儀なくされている状況であります。また世界に目を向けると紛争の終息が見えない状況にあります。まずは一日も早い復興と世界の平和が取り戻せますように心よりお祈り申し上げます。

去年はチャット GPT などの人工知能の発達が話題になりました。生活はどんどん便利になっていますが、イスラエルとハマスの紛争など争いは減るところか増えているようにも感じます。なんでなんでしょう・・・？ 興味本位で人工知能に平和の実現について聞いてみましたところ人工知能いわく紛争の原因になっている問題（貧困や格差の是正、教育の普及、人権の尊重など）の解決が必要とのことでした。そして一人ひとりが自分の立場でできることを考え、行動することが大切とのことでした・・・なるほど（なかなか言うは易し行うは難しですが・・・一人ひとりが自分の立場でできることを考え、行動することが大切というのは改めて共感いたしました）。

毎年、年頭の所感では漢字一文字でその年の抱負を述べさせていただいておりますが、今年の漢字は「優」を挙げさせていただきたいと思います。「優」という字は「人」を「憂：うれう」で優となります。これは平和にとって大事な気持ちであると同時に我々医療者にとっては病気を患った患者さんを思いやるという医療者としても大切なことと思います。今年はこの人を憂う気持ちを大事に先の見えない不安定な世の中ではありますが、一步一步、地域の皆さまと共に歩んで行きたいと思っています。

本年もどうぞ宜しくお願いします。





新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。今年は予想もしなかった波乱の年明けとなりました。あらためて日本が災害大国であることを思い知らされました。2年前に道が公表した日本海溝巨大地震と津波による被害想定では、今回と同じ冬の夕方に起こった場合の登別市の死者は最大1万6千人と推計されています。

しかし、早期避難が出来た場合には被害者を4分の1以下に大幅に減らすことができるとしています。私たちは災害にそなえ、しっかりと準備をしておくことが求められています。とりわけ幌別では最大10mになると予想されている津波から命を守る避難場所と安全な経路の確認は最も大切なことの一つです。また、直接的な災害から逃れても多数の災害関連死が問題となっています。当院は、どんな時でも皆様の健康を守る地域の拠点となれるよう努力を続けていく所存です。今後も皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

院長 柳川 利正

新春の候、地域の皆さまにおかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

まず初めに、元旦早々発生いたしました令和6年能登半島地震で、お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りいたしますと共に、被災された皆さまとご家族にお見舞いを申しあげます。そして一日も早い復興・復旧を心より願っております。

さて、昨年の年末年始、当院は新型コロナウイルスにより過去に経験した事のない対応に追われましたが、この年始には大きな感染症の発生もなく、穏やかな新年を迎えることができました。

看護部長 小林 貴美枝

しかし、全国的には前述の予期せぬ地震ならびに津波・火災により、人々が集った元旦の楽しい団欒が一瞬にして奪われました。年の初めにあたり誰もが今年一年の幸せを祈ったにもかかわらずです。そして、乗客乗員が全員無事で奇跡の脱出と称賛された「日航機事故」も続き、多難な幕開けとなりました。この二つの災害・事故の発生から、病院も個人としても、いつ発生するかわからない災害・事故に対し、日常より万一の場合に備えて対応をしておかなければならないことを改めて考えさせられました。今後とも、地域の皆様に貢献できるよう、医療従事者としての自覚と責任を持ち、日々努めてまいりたいと思っております。

本年も一年どうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶



事務長 室木 世界

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まずは、1月1日に発生しました能登半島地震により被災されたみなさまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く平穏な日常に戻れますようお祈り申し上げます。

地域のみなさまにおかれましては、令和6年が健やかなものでありますよう、ご祈念申し上げますとともに、昨年中も格別のご厚情を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

私たちが長く苦しめている新型コロナウイルス感染症も昨年5月には5類感染症に移行し、社会生活の正常化を目指すべく変化を求められる段階と感じており、登別すすらん病院でも画面越しのみに制限しておりました入院患者様との面会を予約制の直接面会に移行するなど、関係省庁のご意見も踏まえ、少しずつではありますがコロナ禍以前の体制を取り戻すべく尽力しているところです。そういった中で、これまで病院よりご提供しておりました訪問看護のサービスの拡充を図るため、昨年11月に「訪問看護ステーションすすらん」を開設いたしました。

本年も、地域の医療機関や施設のみなさまと協力させて頂きながら、登別すすらん病院・訪問リハビリテーションすすらん・訪問看護ステーションすすらん・居宅介護支援事業所すすらんは、よりいっそう地域のみなさまへ貢献できるよう努めて参る所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

年末年始



行事食のご紹介

当院では毎月行事食を提供しており、皆さん楽しみにされています！
今回は年末年始の3日間の行事食をご紹介します！

令和5年12月31日



令和6年1月1日



令和6年1月2日

